



令和6年度第2回学校運営協議会を10月24日(木)に開催しました。

今回の熟議のテーマ

(1) 学校基本方針を受けての支援策の具体化について

- ・ 部活動地域移行について
- ・ キャリア教育について

(2) 学校評価アンケートの項目の検討



今年度始めた取り組みについて

- ・ ショートホームルームを5分延長（担任からの語りかけの時間を増やした。）
- ・ 好きにさせる指導（教科、学級、自分などを好きにさせる。）



→すぐに成果は出ないが、
少しずつ変化は現れている。



もっと子供たちにたくましく育てほしい。

- ・ 心が落ち込んでいる…何かがうまくいかないと保健室へ行く子が多い。
→相談も良いが、友達との関わりの中で解決できればいいなと感じている。
- ・ ケガが多い…保健体育のバレーやバスケットにおいて突き指が多い。コロナの関係で活動できなかったことや、ボール遊び禁止の場所が多いことなども影響しているのでは。
→ 本校だけでは解決できないので、小学校や地域の方と連携していかなくてはならないと思う。



部活動の地域移行

令和8年9月～、平日はこれまで通り学校で部活動をし、
基本、休日は地域クラブ活動に移行することになります。



- ・ 指導者の確保や、活動場所が課題。
- ・ 少子化により子供の数が減り、部活動の人数を集めるのが難しくなり、部活の数が減ると予測される。
今ある地域クラブを増やすなど、近隣の中学校と一緒に部活動をやっていくのも一つの方法。



浜松市令和8年9月以降の
「休日の部活動の地域移行」
のイメージ図



委員の声

◇ 地域移行の進め方に関する意見

- ・ 平日の教育活動として部活動やるのは良いと思うが、休日の部活動は学校教育の範囲外。
平日の部活動と、休日の地域のクラブチームでの活動は分けて考えたほうがよい。
- ・ 部活動によって異なる課題がある。例えば吹奏楽はチームでひとつの曲を演奏するので、
休日は別の場所で、違う人達と別の曲を練習するとなると難しい。
高額な楽器やメンテナンスの問題なども。

◇ 指導者に関する意見

- ・ 持続可能なやり方にするためには、これまでのように教師に奉仕を強いてはいけない。
民間に指導者をお願いするのなら、ボランティアではなく報酬を払うべき。

- ・指導者はコンプライアンスが厳しく、特に暴言には厳しい。成り手がいない。
- ・子供がクラブチームに所属しているがクラブチーム側も月謝、指導者、練習場所の確保等に悩んでいる。

◇ 学校での部活動は無くさないでほしい

- ・平日は学校でこれまで通り部活動があることをしっかり伝えてほしい。
- ・部活動ではクラスや学年が違った仲間ができ、そこで話をして悩みを解決できることもある。
- ・部活動で培われるコミュニケーション能力は、就職活動の集団面接や社会に出たときにも活きる。
- ・中学校では地域移行するが、高校ではこれまで通りある。

◇ その他の事例

- ・愛知県ではすでに完全移行している。
- ・海外では部活動はなく、教師は授業のみを担当しているところもある。



キャリア教育

- ・職業人として働くときに必要な力や、社会人や市民として生活する力を、行事や職業体験だけでなく、日常の中でも身に付けられるよう意識していきたい。
- ・キャリア教育自体をPRしなくてはならない。
- ・今年、学校便りに行事に絡めてキャリア教育としてのねらいを書くように意識している。

行事などの感想や振り返りを記入するキャリアパスポートは継続されていますか？
同じ体育大会でも小学生の運動会の時に記入したものと比較し、自分の成長を感じることが
できますね。



委員

→はい、やっています。子供たちが記入して担任からもコメントを入れます。



校長

高校にも基本的には送ります。



学校評価アンケートについて

- ・保護者と生徒に、年間で学校アンケートを取り、変化を見る。
- ・少し前に作った項目と、今年新しく加えた項目がある。
- ・本校は、今年は特に生徒と向き合う、語るというところがこのアンケートから読み取れなければならないと思っている。
- ・今年は1, 2, 3学期とアンケートしていきたい。

コミュニティ・スクールとは



保護者や地域のみなさんの声を学校運営に生かして、地域と一緒に特色ある学校づくりを進めていこうと、「学校運営協議会」を設置している学校のことです。委員と学校が目標・ビジョンを共有し、具体的な支援策を協議・実施します。地域と学校が連携することで子供の学びの充実を目指します。南陽中学校では令和4年度から導入されました。

学校運営協議会 次回開催日程

第3回 令和7年2月19日(水)午後

※傍聴をご希望の方は、事前に学校に連絡ください。

会議内容はホームページに公開されます。
ぜひご覧ください。



今年も地域と連携した活動が行われています。

キャリア教育

ゲストティーチャーをお招きし
生徒の興味、関心を深める

職業体験学習

様々な生き方に触れ、
将来への夢や希望を育む

地域との交流

生徒の健全な成長のために。
地域への愛着や誇りをもつ。

進路講話（6月19日）※3年生対象

浜松江之島高等学校と浜松修学舎高等学校の先生に講師として来ていただきました。
公立と私立の違いや、各高校の特徴的な授業の説明を聴き、模擬授業を体験しました。



企業代表による講話（9月11日）※全校生徒対象

須山建設株式会社の須山雄造社長の講話をいただきました。
企業の代表の方の話を聴くことで、生徒は、仕事に対しての情熱を感じ、
これからの自分のキャリアを考え、浜松の産業について学ぶことができたと思います。



助産師講話（11月13日）※3年生対象

助産師の山田美由貴さんにお越しいただき、助産師の話や赤ちゃんのことを
聴きました。自他の命、生きていることへの感謝について、深く認識できたと思
います。



進路講話（11月21日）※3年生対象

公立7校、私立6校の高等学校の先生に講師として来ていただき、各校の学習内容
や特色、高校生の様子や高校生活に必要な心構えなどをお話しいただきました。
生徒は、事前に希望した公立と私立各1校の講話を聴きました。



【公立校】		【私立校】	
・浜松南高等学校	・浜松江之島高等学校	・浜松修学舎高等学校	・浜松日体高等学校
・浜松商業高等学校	・浜松市立高等学校	・浜松学院高等学校	・浜松学芸高等学校
・浜松東高等学校	・浜松湖南高等学校	・浜松開誠館高等学校	・浜松聖星高等学校
・浜松城北工業高等学校			（順不同）

職場体験（11月20日、21日）※2年生対象



子供たちは、職場体験に向けて、働くためのマナーや電話のかけ方を学び、体験先の事業所調べ、履歴書（自己紹介カード）の記入を行いました。そして11月20日(水)、21日(木)に2日間の職場体験をしました。体験を通して職業観・就労観を養い、社会で働くためのルールやマナーを学ぶことができたと思います。



令和6年度の職場体験先

航空自衛隊浜松出張所、浜松科学館、南消防署芳川出張所、南陽協働センター、南陽図書館、東図書館、芳川小学校、芳川北小学校、ルンビニプレスクール、ずだじこども園、バルドン楽器、フラワーショップ華、ミゾグチスポーツ浜松店、アオヤマスポーツ、スポーツタウンメイセイ、遠鉄ストア立野店、杏林堂薬局名塚店、精文館書店領家店、Dr.Drive セルフ浜松南陽SS、あさくま本郷店、oazo 大柳店、須山建設株式会社、株式会社中村組、株式会社クシタニ、新日本繊維機器販売株式会社、遠州鉄道株式会社鉄道営業所、グランドホテル浜松、遠鉄スポーツクラブ・エスポ浜松、メガロス浜松市野店、浜松医療センター、浜松南病院、特別養護老人ホーム芳川の里、浜松東郵便局、浜松いわた信用金庫本郷支店（順不同）

◇ご協力ありがとうございました◇

大風づくり（8月、9月、11月）※希望者対象

地域の糸友会の方にご指導いただき、骨組み、絵付け、色つけ、糸目付を6日間かけて、5つの大風が完成しました。

11月17日の全国風揚げ浜松大会に、南陽組として参加しました。



《完成した5つの大風》

和太鼓「鼓星」(4月～) ※希望者対象

4月から地域の和太鼓指導者の種村弘子さんに月1回程度ご指導いただき、生徒たちは週2回の稽古を積んでいます。練習の成果を、対面式、文化発表会、立野町秋祭り、中学校総合文化祭のステージで披露しました。



《10月3日文化発表会開会式での演奏》

令和6年度 鼓星のステージ

4月 8日(月) 新入生対面式(南陽中学校体育館)

10月 3日(木) 南陽中学校文化発表会開会式(アクトホール)

10月12日(土) 立野町秋祭り(光徳寺)

11月23日(土) 第21回浜松市中学校総合文化祭(サーラ音楽ホール)



立野町秋祭り(10月12日、13日) ※鼓星と吹奏楽部

10月12日(土)に和太鼓「鼓星」、13日(日)に吹奏楽部が、立野町秋祭りのステージで演奏しました。



子供たちの一生懸命な演奏に住民は盛り上がりました。子供達の元気な姿を地域に見せられる場が増えればと思います。



学校支援コーディネーター

赤ちゃんふれあい体験(11月21日) ※3年生対象



親子40組と妊婦さん1名にお越しいただきました。まず、生徒は、ふれあいサポートネット「ふわっと」による乳幼児についての学習・DVD視聴、手遊びの練習など、ふれあい体験のための準備をしました。

そして助産師さんや「ふわっと」のスタッフさんの指示、誘導のもと、赤ちゃんとのふれあい体験をし、お母さんの話を聴きました。愛らしい赤ちゃんに、生徒からはたくさんの優しい笑顔が溢れました。保護者ボランティアの方々もご協力ありがとうございました。

